



# 「クロスケの大原野げんき畑」の 変わりだねナスはいかが？

京都市西京区大原野 田中 <sup>ひろあき</sup>宏明 (クロスケ) さん

クロスケさんこと田中宏明さんは、就農5年目。非農家でサラリーマンだった田中さんは、栽培から販売まで全てを自分の力で行う農業に挑戦したいと、会社勤めを辞め、大原野地域の方々から支援を受けて就農しました。経営の主力であるナス生産では、千両ナスの特産地であるこの地で、あえて自分の特徴を出そうと、変わりだねナス9種類も栽培。年々その割合を増やし、直売や市場を通じてスーパーで販売しています。今年は、事業を活用し、変わりだねナスの出荷形態を改善しました。京都市立芸術大学とのコラボで作成した出荷箱のデザインはとてもしずかで、市場でひとときわ注目を集めています。直売ではお客さんとの会話を大切に、田中さんの変わりだねナスのファンを増やしています。

## 伝統ある水尾のゆずに 新風を吹き込む



むらかみ ともひこ  
村上 智彦さん (京都市右京区嵯峨水尾)

平成28年に就農し、両親とともに嵯峨水尾でゆずの栽培に取り組んでいます。まだ栽培技術など学ぶべきことはたくさんあります。ゆず胡椒など加工品製造にも取り組んでおり、歴史ある水尾のゆずを守るだけでなく、ゆずを柱に様々な事業を展開していきたいと考えています。

## 地域特産品目の安定した 栽培技術の習得を目指して



たかはし いっせい  
高橋 一誠さん (京都市北区上賀茂)

就農4年目の26歳、家業を継いでいます。父親から農業技術を学ぶため、大学就学中から家業を継ぐ計画を持っていました。現在、地域特産の賀茂ナスやトマト等の施設栽培を行い、品目ごとに管理内容を記録し、技術習得に心がけています。目標は、天候不順な時でも安定して収量、品質を保つことができる技術のレベルアップです。

## 地域の若手リーダーとして活躍中!

つじい ゆうき  
辻井 憂樹さん (京都市伏見区深草)

深草で400年続く農家の後継者。家族4人でキュウリ、ネギ、キクナ、ホウレンソウを中心に栽培しています。JA農産物品評会で特別賞を何度も受賞するなど栽培・出荷調製の技術は高く、いい野菜をつくりたいと元気に営農しています。JA青壮年部役員も務め、都市農業のリーダーとして活躍しています。



管内では多数の農業青年が活躍しておられます。  
今回はその中から元気いっぱいの若い担い手を御紹介します。

## 伝統栽培を守りながら新しい品目にも挑戦!

いはら たくと  
伊原 拓利さん (京都市南区上鳥羽)



就農5年目の28歳、上鳥羽で伝統野菜の水菜の大株を作っています。大学卒業後すぐに親元で就農しましたが、数年前に父が急逝しました。当初は戸惑ったものの、母とともに立て直し、今年からはナス栽培も始めるなど積極的に新しい品目に挑戦して収益改善に取り組んでいます。



## 日々勉強!里山京北山国で 黒大豆の生産に取り組む

おあみなみ なおや  
大南 直也さん (京都市右京区京北)

農業大学卒業後、JAに就職し、指導員として技術を磨いた後、地元の京北で就農し、今年で8年目です。指導するのと実際に自分で栽培するギャップに戸惑いましたが、自分で栽培するのはとても面白い。今は黒大豆の単収アップのため毎年様々な技術を取り入れています。



## とれたて新鮮野菜を地元の皆様に!

こばやし けんいち ゆうき  
小林 謙一さん、祐樹さん (長岡京市)

兄謙一さんは農業大学卒業後就農7年目の26歳、弟祐樹さんは就農2年目の22歳です。父親のもとで、ミディートマト「ガラシャの瞳®」等を栽培する施設野菜中心の農業経営です。兄は栽培、弟は販売を軸に兄弟で協力して、直売、インショップや学校給食へ旬の野菜をお届けしています。

## 旬の野菜、たけのこ、その良さを伝えたい

こいずみ なみ  
小泉 奈美さん(大山崎町)

乙訓地域の特産品として広く親しまれている、たけのこやナス。小泉奈美さんは、夫と両親とでこれらの特産品をはじめとした農産物を栽培されています。とれたて野菜は、朝市やレストランへ出荷するほか、学校給食にも納入しておられます。

地元大山崎小学校3年生の授業でナス栽培について教えることもあります。小泉さんは「きれいで元気なナスを育てるために、葉や枝を切って、光がよくあたるようにしてるのよ。」「美味しかった～！とってもらって、とてもうれしいのよ。」と説明をされます。子どもたちは実際にナスを見て触れることができる「生きた教材」で学び理解を深めています。

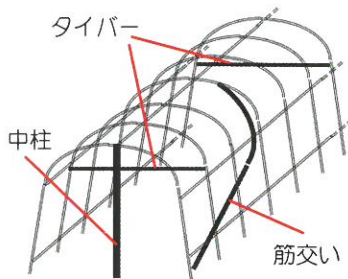
「地域で色々な世代の皆さんとの交流を大切にしながら、農業の魅力や旬の野菜の美味しさを伝えていきたい。」と、小泉さんは笑顔で語ってくださいました。



## 大切なパイプハウスを守るために 強風や雪に備えを!

今年1月中旬の大雪で管内でも多くのパイプハウスが倒壊しました。大切なハウスを強風や雪から守るため、事前の対策をやっておきましょう。主な対策は以下のとおりです。

- 天気予報などで気象情報を入手する
- ハウスを点検し、隙間や破れなどの補修、ハウスバンドやアンカーの緩みをなおす
- ハウス周辺を片付けて、排水路や雪置き場を確保する
- パイプハウスのセンターに中柱を立てる(積雪地域では必須)
- パイプを使用して筋交いやタイバーをつけ、ハウスの構造を強くする
- 新しいビニールは雪が滑りやすいので、張り替えを予定している場合は降雪前に行う



## 大原野加工食品友の会 受賞おめでとうございます

みそ加工・販売など、長年の活動が認められ、大原野加工食品友の会(京都市西京区)が近畿農政局男女共同参画表彰を受賞され、8月30日に和歌山市で開催された近畿地域農山漁村女性のつどいにおいて賞状を受けられました。

第49回近畿地域農山漁村女性のつどい



喜びの表情

## 経営講座受講生の募集

「生産効率を上げて安定収入を得たい。」「販路拡大により売上額を高めたい。」などの目標を持つ就農3～5年目の方を対象に、農業経営講座を開講します。右の日程・内容で講座を開催しますので、興味のある方は御連絡ください。お待ちしております。

日 程	内 容
第1回 1月16日(火)	【講義】農業ビジネスの基本ほか
第2回 1月30日(火)	【講義、ワークショップ】 経営課題等の意見交流ほか
第3回 2月6日(火)	【講義】商談会用シートの作成
第4回 2月20日(火)	【体験】模擬商談会
第5回 3月9日(金)	【実技】商談会参加

## 発行 京都府京都乙訓 農業改良普及センター

〒615-0846  
京都市右京区西京極徳大寺  
団子田町15  
TEL 075-315-2906  
FAX 075-315-2909  
<http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/>

平成29年9月22日発行